

令和7年

第5回仙北市議会定例会
教育行政報告

仙北市教育委員会

令和7年8月22日

令和7年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校適正配置準備室】

◇学校適正配置計画の策定について

計画の成案化に向けて調整課題となっている中学校統合の組合せ及び統合の時期に関し、今年5月に実施した保護者アンケートでは各案に対する支持率が拮抗していることが分かりました。このことから、さらに別の視点からも検討を行うこととし、7月に市内小・中学校に勤務する全教職員142人を対象にアンケートを実施したほか、30日には各校から派遣された教職員21人による意見交換会を開催しました。

教職員からは、中学校統合の組合せに関しては、生保内中も含めた4校統合が望ましいとする意見が多く69.7%でした。学校規模が大きくなることで学習面、学校行事、部活動及び人間関係等における教育効果の向上や指導体制の充実を期待する意見が多くありました。

また、統合の時期に関しては、令和11年度統合が望ましいとする意見が多く、74.0%でした。令和10年度に小学校と同時に統合する場合、1年目は仮校舎となるため移転が続き学習環境が落ち着かないこと、また小中同時統合の慌ただしさに加え仮校舎整備に様々なコストがかかるなど不安やデメリットを指摘する意見が多くありました。

今後、学区及び園・小・中の枠を越えた保護者意見交換会を開催し、教職員の意見も踏まえ、広く市民が納得できる再編案に向けて意見を交わりたいと考えています。

年内に最終案をまとめ、年度内に計画策定できるよう進めてまいります。

【学校教育課】

◇大曲仙北中学校総合体育大会の主な結果について

今年度の大曲仙北中学校総合体育大会が、6月21日～23日にわたり大仙市、仙北市、美郷町の各会場で開催されました。

剣道大会では角館中学校男子団体、柔道大会では神代中学校女子団体

がそれぞれ優勝となりました。また、卓球大会で角館中学校男子団体が準優勝、バレーボール大会で角館中学校、西明寺中学校が3位となり、県大会出場権を獲得しました。また、多くの生徒が入賞し、県大会出場権を獲得しましたので、別紙をご覧ください。

◇吹奏楽コンクールの結果について

7月5日～6日に湯沢市文化会館で開催された全日本吹奏楽コンクール第67回秋田県県南地区大会において、神代中学校、角館中学校が中学校小編成の部で金賞を受賞し全県大会への出場権を獲得しました。また、神代中学校は、最優秀賞を受賞しました。秋田県大会は、あきた芸術劇場ミルハス大ホールで7月31日、8月1日に行われ、神代中学校が金賞、角館中学校が銀賞でした。

◇第67回秋田県美術展覧会(県展)の入選について

第67回秋田県美術展覧会(県展)において、角館中学校の7名の作品が入選を受賞しました。受賞者は別紙の通りです。

◇第74回秋田県中学校総合体育大会の主な結果について

7月5日から21日にかけて、第74回秋田県中学校総合体育大会が開催され、予選を勝ち抜いた市内各中学校の選手が出場しました。

柔道競技では、女子個人57kg級で神代中学校の佐藤伊咲季(さとう いさき)さんが優勝(連覇)し、東北大会と全国大会への出場権を獲得しました。女子個人70kg超級では、角館中学校の黒澤葵(くろさわ あおい)さんが準優勝、男子個人90kg級では、角館中学校の斎藤輝愛(さいとう きあら)さんが3位となり、東北大会の出場権を獲得しました。

東北大会は、8月8日から10日に青森県武道館で行われ、神代中学校の佐藤伊咲季(さとう いさき)さんが優勝、角館中学校の黒澤葵(くろさわ あおい)さんが5位入賞を果たしました。また、全国大会は8月19日から22日に福岡県の照葉積水ハウスアリーナ(福岡市総合体育館)で行われております。

バレーボール競技では、西明寺中学校・角館中学校が3位となり、東北大会の出場権を獲得しました。東北大会は、8月2日から4日に花巻市総合体育館で行われました。

陸上競技では、角館中学校が低学年4×100mリレーで4位となり、東北大会の出場権を獲得しました。東北大会は、8月5日から7日に福島県のとうほう・みんなのスタジアムで行われました。いずれも善戦した報告を受けております。

◇第22回全国中学生弓道大会2025JOC ジュニアオリンピックカップ大会の出場について

神代中学校の佐藤綺音(さとう あやね)さん、真崎那菜(まさき なな)さん、角館中学校の鈴木こころ(すずき こころ)さんが、第22回全国中学生弓道大会に角館大弓会団体戦メンバーとして出場しました。大会は、8月17日に東京都の全日本弓道連盟中央道場／明治神宮武道場至誠館弓道場で行われました。

◇大曲仙北中学校駅伝競走大会について

大曲仙北中学校駅伝競走大会が8月28日、田沢湖畔にて開催されます。今年度は、県道相内潟野線工事の影響が懸念されたため、昨年度と同様に区間を短縮して行います。

なお、全県中学校駅伝競走大会は、9月28日、秋田県立中央公園にて開催される予定です。

◇ミュージカル「秋田は何もない」の観劇について

ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業の一環として、市内の5、6年生と中学生がわらび座を訪れ、現在上演しているミュージカル「秋田は何もない」を観劇しております。すでに、神代中学校、西明寺中学校が観劇を終えておりますが、大好評でした。寄せられた感想文には、「僕はもしかしたら仙北市を離れて仕事をするかもしれません。しかし、最終的には秋田に戻ってこようと考えています。また他県にいるときもふるさと納税などを使って、仙北市に納

税したいです。」「僕は大人になったら今まで県外に出ていこうと思っていたが、観劇した後に考えてみたら、のどかで米がおいしくて優しい人がいっぱいいる仙北市が僕にぴったしでした。まだはっきりしないが将来は仙北市で地元のためになる職業に就きたいです。」というような感想がたくさんよせられました。

【北浦教育文化研究所】

◇子どもサミットについて

8月5日に子どもサミットを開催しました。今回の子どもサミットでは、昨年度の子どもサミットで作成した「仙北市SNSルール(案)」を受けての各校の取組の紹介と「仙北市SNSルール(案)」についての検証が行われました。子どもたち自身が「SNSとのよりよい関わり方」について考える、貴重な学びの機会となりました。

午後からは、令和5年1月の子ども議会で提言し、令和6年2月に詳細案を提案した「仙北市わくわくスタンプラリー」について、実現に向けた話し合いが行われました。各校の代表と市の関係課を交えての熟議形式で意見交換をしました。児童・生徒が、地域を支える一員としての自覚をもち、「自分たちにできること」について改めて考えるよい機会となりました。

◇小学生による職場体験について

ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業の一つ、小学生職場体験学習を7月30日に開催しました。市内小学生19名が、角館郵便局、角館消防署、市立角館総合病院で、仕事を体験しながら「働くこと・社会に貢献することの意義」を学びました。7月31日には、小学校でいつも使っているタブレット端末で、体験から感じ取った働くことや自分の感性に響いた言葉を添えて、企業の「素敵どころ」「地域社会のためになっているところ」を、企業へのお礼の気持ちを込めてポスターを制作しました。ポスターは、田沢湖、角館、西木の三地区で展示する予定です。

【生涯学習課】

◇「二十歳の集い」について

今年度の「二十歳の集い」は、8月15日に市民会館で開催されました。当日は164人が参加し、学生時代を共に過ごした友人や恩師などとの久しぶりの再会に笑顔が溢れていました。

参加者の自主企画であるアトラクションではビンゴ大会が催されるなど、終始和やかな雰囲気会で会を終えることができました。

【公民館】

◇夏の防災体験教室について

7月5日に夏の防災体験教室が西木総合開発センターを会場に開催されました。前半は、秋田県生涯学習センター学習事業チームリーダー柏木睦(あつし)氏による「役立つ防災スキルを体験しよう」と題した講演や、防災に関連したグッズの紹介が行われました。後半は、実際に参加者が地震体験車で大型地震の揺れを体験し、改めて地震の怖さを知る良い機会となりました。当日は、地域の方々や相互連携が必要となる関係団体など約80人が参加し、備蓄庫の見学や地域婦人連絡協議会による炊き出しなどのご協力もあり、防災について体験しながら楽しく学ぶことが出来ました。

【仙北市民会館】

◇自衛隊コンサートについて

市民会館の自主事業であります仙北市市制20周年記念事業「陸上自衛隊第9音楽隊」のコンサートを7月13日に開催しました。800人を超える方々にご来場いただき、演奏者と聴衆が一体となった楽しいコンサートになりました。

コンサート開始前には音楽隊隊員にロビーでミニ演奏会を開催していただき、来場した多数の方々から「良いコンサートだった」と好評をいただきました。

今後とも市民のニーズを把握しながら、今まで以上にたくさんの方々に来

場してもらおうべく、良い芸術鑑賞の機会を提供できるよう工夫して参ります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇企画展について

イベント交流館では、8月2日から17日まで、田沢湖クニマス未来館を会場に、『田沢湖によせて－千葉治平と坂本梅子のことば－』と題し出張ミニ企画展を初めて開催し、1,627人の方々に観覧していただきました。

また、9月5日から11月9日まで、角館高等学校創立百周年記念「百穂とアララギの歌人たち」と題し、平福百穂が装丁した書籍などを中心に資料を展示します。この機会に是非ご覧ください。

【平福記念美術館】

◇企画展「草薨裕写真展－水を掬ぶ(むすぶ)－」について

7月1日から9月21日まで企画展「水を掬ぶ(むすぶ)－草薨裕写真展－」を開催しています。草薨裕(くさなぎゆう)氏は仙北市角館町出身の写真家で、現在は秋田公立美術大学の准教授をされながら作家活動を続けています。

平成27年度にも草薨氏の写真展を開催しており今回で2回目となります。身近な自然、水、雪、火等に内包される「瞬間と循環」をテーマに取り上げ、肉眼では見ることのできない一瞬の美をとらえた写真が印象的です。

8月9日には草薨氏によるギャラリートーク、16日には写真ワークショップを開催し、どちらもたくさんの方にご参加いただきました。会期は9月21日までですので、ぜひこの機会にご鑑賞ください。

また、同時開催として常設展示室では平福穂庵・百穂展を開催していますので、こちらも併せてご鑑賞ください。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます。